



1. 理事会開催 —24 学年度から 61 人増の 950 人採用—

6月3日、第42回理事会が都内会場にて開催され、全国から理事26人、監事2人が出席しました。

今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、主な議案として、危機管理規程、海外学友会推薦奨学金の海外学友会に対する業務委託に関する規程、2025 学年度奨学生採用数、募集要項、2024 年度



事業計画案、資産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2025

学年度の奨学生採用数は、前年度から61人増加の950人(枠)とすることが決定しました。

2. 第2回 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催

6月6日、2024-25 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第2回セミナーを都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、井原實常務理事の講話から始まり、学務・学友関連について事務局から説明。事例発表として、第2750 地区の粕谷啓之委員長から世話クラブの選定についてご紹介いただいた後、滝澤功治副理事長から米山奨学事業の危機管理についてご説明いただきました。

午後の部では、第5代よねやま親善大使の陳チンヨウ瑶さん(2012-14/四日市東RC)が、「米山奨学事業がもたらす三観変化」というタイトルで、大使活動と自らの経験についてスピーチしました。また、事例発表として、第2550 地区の田島良久委員長から、同地区の寄付増進の取り

組みについてご紹介いただきました。その後、4 グループに分かれて「寄付増進」、「奨学生選考と世話クラブ選定」、「奨学生・学友との交流行事の工夫」、「学友・学友会」などをテーマにディスカッションが行われ、各グループからの報告と質疑応答を経て、神野重行常務理事の講評で締めくくられました。



3. 寄付金速報 今年度の寄付実績は 6 月 28 日(金)まで

前年同期比

+ 1.64%

普 - 0.16% 特 + 2.45%

5 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.64% 増 (普通寄付金:0.16%減、特別寄付金:2.45%増)、約 2,140 万円の増加となりました。ロータリー会員の

皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。

今年は年度末が土日のため、今年度のご寄付は **6 月 28 日(金)** までに着金するよう、余裕をもってご送金をお願いいたします。今年度も残るところあと 2 週間余りとなりましたが、引き続き米山記念奨学事業へご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

4. 海外米山学友会が能登半島地震へ寄付

能登半島地震発生から国内外で米山学友たちの支援が続いている中、今回は2つの海外米山学友会が寄付を行いました。

黄建榮さん(1998-2000/室蘭東RC)が会長を務めるマレーシア米山学友会は、マレーシア在住の日本人と協力し、3月9日にオンラインチャリティーイベントを開催しました。「日本とマレーシアを結ぶ」をコンセプトに、マレーシア料理の料理教室や、日本人音楽家によるコンサートなどを配信。その収益として集まった212,178円を、被災した子どもたちを支援して

いる認定NPO法人カタリバへ寄付しました。

ダシルワ プブドゥさん(2007-09/室蘭北RC)が会長を務めるスリランカ米山学友会は、3月9日に福島県、3月30日に新潟県でスリランカカレーの販売を行いました。新潟県では第2560地区米山学友会も協力し、イベントを開催。この2回の活動での売上と、スリランカ米山学友会からの寄付を合わせた101,148円を、当会へ送金いただきました。お預かりした寄付金は、当会から第2610地区の義援金窓口へ送金する予定です。

5. 「立派な大人になった」学友と再会したカウンセラー

今から約4年前の2018年、熊谷籠原RCの並木信二会員は、第2570地区のオリエンテーションでトルコ出身のイバムスタファヒルミさん(2018-20)と出会いました。初対面の印象は、「真面目で礼儀正しい好青年」だったそうです。奨学生時代のイバさんと一番の思い出は、共に参加した秩父音頭祭り。イバさんは先頭で提灯を持ち、2年連続で先導役を務めたそうです。その他、江戸川花火大会や北陸への親睦旅行など、多くのクラブ行事にも一緒に参加しました。

イバさんが奨学期間を終了し帰国する際、コロナ禍の影響で満足に送別会もできず、心残りだったそうですが、誕生日や新年の度に連絡し、やり取りを欠かしませんでした。そして今回、4年ぶりに来日する旨の連絡を受けました。残念ながらクラブ例会の日とは重ならなかったため、並木会員は急遽参加者を募り、5月22日、集まった5人と共に来日したイバさんと再会。実は、今回イバさんが来日した大きな目的は、母国で弁護士資格を取得した報告をするためでした。



イバさん(中央右)と再会した並木会員(左)とクラブ会員

並木会員は4年ぶりの再会と嬉しい報告に、「会いに来てくれて本当に嬉しいですし、立派な大人になったな、と感じました。いつの日か東京で弁護士事務所を構え、トルコと日本で仕事をしたい、と話していて、まさに米山事業が目指す両国の懸け橋となってほしいと思いました」と、喜びを語りました。

同クラブでは奨学生と関係を構築するための取り組みとして、会員が奨学生の母国のことを勉強して理解するように心掛けているそうで、カウンセラーを務めることは「自分自身も成長できる素晴らしいこと」と、話してくださいました。

ベトナム南米山学友会 第1期総会開催のご案内

◇2024年7月28日(日) 13:00~15:00 (ベトナム時間)

申込・詳細はQRコードから

15:00~17:00 (日本時間)

◇会場: NHÀ HÀNG CƠM NIÊU THIÊN LÝ (ホーチミン市内)

◇オンライン参加も可 ※※ 申し込み期限: 7月15日(月) まで ※※

